

「教会学校における牧会 (その一)」

吉田真司

今月は教会学校月間として歩んでいます。先日8日のオープンクラスには普段より増して多くの方にご参加いただけて嬉しく思います。今巻頭言と次回では「牧会」に視点を置き、「教会学校における牧会」というテーマにつき展開したいと思います。

「牧会」という用語はギリシャ語の「羊飼い」からきた言葉であり、迷える羊を尋ね求める牧羊者のイメージとして教会の中で使われてきました。牧会は英語では「Pastoral Care」といいます。その字より「世話をする」「看護する」「配慮する」などの意味を想像させ、やはり牧者のその羊に対する配慮を意味しています。教会において牧会者の最高モデルはイエス・キリストです。聖書でも「大牧者」イエス・キリスト (ヘブライ 13:20、1ペトロ 5:4) 「良い羊飼い」イエス・キリスト (ヨハネ 10:11) とも呼ばれています。そして主イエスはその牧会の使命を弟子たちに委ねられました。「わたしの小羊を飼いなさい」「わたしの羊の世話をしなさい」(ヨハネ 21:15-17) と。スイスの改革派神学者であるトゥルナイゼンはこう言います。「牧会するという事は、教会における一つの宣教行為である。ただ、いわゆる一般の宣教と異なる点は、牧会においては一人ひとりを対象として個人的に神の言が伝達され、またいろいろな形態において、御言葉が宣教されるということである。・・・牧会ということとは、個人個人の霊魂を対象として、その救済に集中するのである」と。つまり、牧会における宣教は、ただ福音を伝達するというだけでなくに留まらず、個人個人に接近し、一人ひとりをよく理解し、「とがめ、戒め、励まし・忍耐強く、十分に教える」(2テモテ 4:2) ことです。

その牧会を担うべく設置されている教会の働きとして「教会学校」があること、そのことを共に覚えたいと思います。「会衆主義であるバプテスト教会において、福音宣教と伝道牧会の使命は牧師を含む信徒一人ひとり、すなわち神の民である会衆に与えられた務めです。」(坂元幸子「教会学校基礎講座～3.相互牧会」)

(次週に続く)

教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00～10:00 (相模原礼拝)
		午前 10:40～12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30～10:20
		(嬰兒、幼児、小学生、中高生、青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)
祈り会	水曜日	午後 7:30～9:00
金曜集会	金曜日	午前 10:30～12:00
家庭集会 (相模原)	第二火曜日	午前 10:00～12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三木曜日	午後 1:30～3:00 (長谷川家)

日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中心林間4-24-6 TEL&FAX 046 (274) 3708

牧師：吉田真司 音楽・子どもユース担当主事：江原美歌子 協力牧師：斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>